

# 令和6年度総会報告

## 令和5年度事業報告

令和5年度事業報告・決算、規約の改正、新役員、令和6年度の事業計画・会費徴収額、予算等は、4月20日(土)に自治会連合会役員にて総会を開催し、すべての議案が承認されました。

## 令和6年度事業計画

次の5つの基本方針に沿って、4つの事業に取り組みます。

- 互いに支えあい、安全安心の住み良いまちづくりの取組みを推進する
- 次世代に自信をもって引き継げる単位自治会の強化と、地域活動に携わる人材の発掘と育成を図る
- 交流センターを核とした地域づくり協議会の活動を推進し、地域住民主体のまちづくりを推進する
- 防災、防犯、交通安全、福祉、子ども若者健全育成、多文化共生、男女共同参画に関する施策を、地域づくり協議会と連携して展開する
- 行政、関係機関、団体との連携を図り地域力の向上を目指す

## 取組事業

### 地域力向上

自治会連合会だよりの発行、市長と市政について語る会の開催、女性役員の選出・活躍推進・支援、地域活動のDX化<sup>※1</sup>に向けた研究など

### 防災、減災

家庭防災の日による自助の推進、災害を想定した訓練による自助、共助の推進など

### 防犯

青色回転灯装備車など防犯パトロールの実施、特殊詐欺被害撲滅に向けた取組みなど

### 交通安全

ピカッと作戦(早めのライト点灯と自発光式反射材の着用)の推進、自転車マナー向上に係る取組みなど

※1 Digital Transformationの略語。デジタル技術を活用し、新たな価値の創出と仕組みの変革を進めること。

## 磐田市自治会連合会 安全安心まちづくり宣言

私たち磐田市自治会連合会は、「安全・安心の住み良いまちづくり」の実現に向け、地域で発生する犯罪や交通事故を防ぐために、個人での対策はもちろん、地域全体で活動に取り組む必要があると考え、交流センターを中心とした地域づくり協議会を核に、各種団体と連携しながら広域的に取り組んでおります。

犯罪件数は減少傾向にありますが、近年は電話を使用した振り込め詐欺被害が大きな社会問題となっており、撲滅に向けた取り組みが急務となっています。また、市内では高齢者や自転車に関与した交通事故が多数発生しております。

こうした現状を踏まえ、私たちは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識のもと、新たな決意で、

- 地域が一体となって防犯・交通安全活動に取り組もう
- 地域住民への防犯・交通安全意識の啓発を図ろう
- 子どもや高齢者を犯罪や交通事故から守ろう
- 振り込め詐欺を撲滅しよう
- 自らの安全は自ら守ることを心がけよう

を合言葉に「安全・安心の住み良いまちづくり」の実現に向けて、まい進していくことをここに宣言いたします。

令和6年5月11日 磐田市自治会連合会

## 令和5年度収支決算

収入		支出	
費目	決算額(円)	費目	決算額(円)
会費	1,014,000	会議費	632,112
交付金	6,335,700	事務費	2,982,863
収入負担金	125,000	視察研修費	491,583
前年度繰越金	2,845,454	事業活動費	4,063,604
雑収入	21	支部研修費	94,683
合計	10,320,175	負担金	278,650
		予備費	0
		合計	8,543,495

## 令和6年度収支予算

収入		支出	
費目	予算額(円)	費目	予算額(円)
会費	1,005,000	会議費	850,000
交付金	7,280,000	事務費	3,436,000
収入負担金	660,000	視察研修費	1,050,000
前年度繰越金	1,776,680	事業活動費	4,800,000
雑収入	0	支部研修費	250,000
合計	10,721,680	負担金	300,000
		予備費	35,680
		合計	10,721,680

# 磐田市自治会連合会だよりの未来のために

回覧 vol.44



この連合会だよりは、連合会のホームページからも見る您可以通过 →

## 会長メッセージ

### これからの自治会活動に思う



磐田市自治会連合会長  
深田 研典  
Kensuke Fukada

磐田市自治会連合会長の「深田研典」と申します。

日頃から会員の皆様方には、自治会運営や地域コミュニティの推進から地域住民の安全安心の確保など地域活動にご努力いただき、また、自治会連合会の運営や活動に多大なるご理解とご協力をいただいていることに深く感謝申し上げます。

今後とも、皆様方のお力添えをいただきながら、皆様方の声に耳を傾け、一緒になって安全で安心して暮らせる地域づくりを更に推進して参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

昨年度、市内においては、2年続けたの大規模な豪雨災害が発生し、加えてコロナ禍から受けた影響など、自治会活動や地域活動においても大変な一年であったかと、ご苦労も多かったことと思います。

自治会長を中心とした各自治会の皆様方には、自助、共助で力を合わせて乗り越えていただき大変心強く感じております。

さて、少子高齢化や人口減少が進んでいる中で、自治会を取り巻く環境も大きく変わりつつあり、役員の選出や様々な活動の担い手不足、更には、自治会の統廃合など自治会運営が大変厳しい状況を抱えて来ております。

その中で、これからの地域づくりには、益々、住民同士や地域間での助け合いや支え合い、つながりが重要となって参ります。

そして、安全で安心して暮らせる地域づくりには、地域住民の連携、つながりから生まれる「顔の見える関係」が不可欠であり、より多くの地域住民の参加が必要

と考えております。

その活動の要となるのが、市内25の地域づくり協議会であります。

本年度は、市内25の地域づくり協議会の連絡会が情報交換、情報共有を目的として発足いたしました。

自治会は、地域住民の親睦と市政に市民が参加する住民自治のためにつくる任意の団体であり、その連合組織が自治会連合会であります。

自治会連合会は、5支部、29地区、300の自治会で構成しておりますが、事業の活動主体を地域づくり協議会に移行して、地域づくり協議会連絡会と相互に補完し合い、自治会と地域づくり協議会が共に理解と連携、協力を図る中で、つながりを大切に、住民自治の機能を更に高めて、より安全で安心して暮らせる地域づくりを推進して参りたいと思います。

特に、いつ、どこで、どのような形で、どんな状況下で起こるかわからない災害に対する防災対策の強化であります。

防災対策の基本は、「日々の備えが命を救う」ということです。

今一度、危機感を持って「日頃からの備えの大切さ」と「自助、共助の意識」を高め、個々、地域の防災力、減災力を高めていきたいと思っております。

その中で、女性目線や子どもたちの考えや意見、力が活かせる防災対策など、女性と中高生が活躍できる体制づくりを図っていきたく思います。

私は、人と人の和、つながりを大切に考えております。健康第一!

みんなで力を合わせて、オール磐田で頑張っていきたいと思います。

皆様方のご理解とご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

地域づくり協議会の詳細は2次元コードから参照することができます ▶



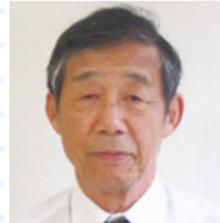
【令和6年7月18日発行】発行：磐田市自治会連合会 編集：磐田市自治会連合会 総務部会

連絡先 磐田市自治会連合会事務局(自治デザイン課)  
TEL (0538) 37-4811 http://www.iwatashi-jichikai.jp

# 各地域の取りまとめ役と支部長メッセージ

## 磐田支部

お互い様の気持ちが繋ぐ地域の和  
 磐田支部における本年度自治会長の新任者は103名、新任率73%です。昨年の80%弱に比較すると若干下がった傾向となりました。役員のみならず手不足はいつの時代になっても変わらない景色ですが、高齢化の増す中では特に仕事量の軽減が付加されます。地域でのアンケートを取る中で解決案が浮かんでいきます。知恵を絞って解決案に取り組みましょう。単年度役員での取り組みは難しいですが、継続協議することで結論を導き出すことになるでしょう。  
 磐田支部会議では、理事のコミュニケーションを図るべく情報交換の時間を取るよう会を進めております。困ったときは基本に戻るとは言いつくされた言葉ですが、人との話し合いを大切にしようと考えております。令和6年度、宜しくお願ひ申し上げます。



磐田支部長  
藤原 孝一



今之浦地区長  
寺田 和芳



岩田地区長  
鈴木 隆之



見付地区長  
小杉 泰久



中泉地区長  
兼田 清



天竜地区長  
酒井 宏高



長野地区長  
鈴木 隆幸



於保地区長  
小林 始



大藤地区長  
青島 友志



向笠地区長  
鈴木 千加子



西貝地区長  
磯部 知明



御厨地区長  
服部 敏幸



南御厨地区長  
村松 直司



田原地区長  
清水 房雄

## 福田支部

お祭りや自治会活動がもどに戻りつつあります。自治会活動は、役員確保のむつかしさや業務の多様化などで常に見直しが求められています。「どのように実施するか?」に夢中になり、目的を忘れがちです。原点に立ち返り、なぜやるのか、コミュニティを深めるのか、住民意識向上なのか、問題解決なのか、話し合う必要があります。コロナ禍で集まることができず学んだことも多々あり、活かすことも重要です。中高大学生の協力者を増やしつつ、緩やかで寛容で楽しく、皆さんと相談しながら、前に進みたいと思います。



福田支部長兼豊浜地区長  
内野 稔



福田中地区長  
柏木 将生



福田南地区長  
大石 光泰



福田西部地区長  
田中 潤



福田北部地区長  
柴田 真秀



## 竜洋支部

自治とは自分（たち）で決めて、自分（たち）で担うこと、抱える様々な課題解決には常に顔の見える関係を築き、絆を深めていくことが大切だと思います。社会は人口減少、少子高齢化、生活の多様化等々、自治会の役割も大きく変化しております。防災、防犯、安全、福祉、子どもたちの健全育成、地域の活性化などの大きな課題につきましては地域全体で取組み、多様なニーズに応えるために、住みよいまちづくり協議会にて効果的、効果的、持続的な活動が必要と考えております。  
 知恵を出し合って、力を合わせて安全安心の住みよいまちづくりを目指して活動していきたいと思ひます。



竜洋支部長  
吉野 博行



竜洋西地区長  
鈴木 徹



竜洋東地区長  
住原 正敏



竜洋北地区長  
鈴木 孝尚

## 豊田支部

新型コロナウイルス感染症が沈静化したとはいえ、最近身近な人が感染し、未だ予断を許せぬ現状に戸惑っています。連合会では恒久活動に重点を置き、本来の事業の運営を目指しています。皆様方のご協力を宜しくお願いします。  
 さて、数年前より組織改革の一因として掲げてきた地域づくり協議会組織のまとめ役として、協議会連絡会が今年度よりスタートする事となりました。市内25地区の協議会も発足より8年が経過し、地区において中心となる組織展開をしています。しかし、統括している部署がなく各地区の特色をPRする場面や、また他地区の活動を知りえる機会も少なく単位協議会活動が進められてきました。今回の連絡会はそのような情報開示、情報交換の場を作り、情報共有を元に各地区の発展に寄与することを第一の目的としています。これからの連絡会の進め方にご協力をお願いします。



豊田支部長  
大澤 房男



井通地区長  
山岡 二三雄



豊田東地区長  
山崎 次廣



富岡地区長  
藤田 鉄士



池田地区長  
鈴木 眞



青城地区長  
鈴木 正

## 豊岡支部

2年続けての被災は、豊岡支部にとっての最重要課題を知らずも示すことになりました。  
 まずは自治会・自主防災会の共助力向上を図らねばなりません。役員任期の単年度制がもたらす脆弱性、コロナ禍の負の遺産、克服すべき障害は小さくありません。  
 一方、各家庭の自助力強化が必須です。台風や地震の発生そのものは、人の力では止められません。しかし、被害を減らすための備えはもっとできるはずです。  
 行政に対しては、非常時の公助体制の強化は勿論ですが、自助・共助の力を育むという観点からの支援や助成を、さらに充実させていただきたいと考えています。



豊岡支部長  
石川 好三



豊岡北地区長  
青野 博美



豊岡南地区長  
村松 庸志



豊岡東地区長  
佐野 健夫

交流センターだより／地域づくり協議会だよりが市ホームページで見ることができるようになりました！



自治会連合会ホームページ  
 様々な情報をお伝えしています！

